



みなさまこんにちは！毎日暑くて溶けてしまいそうですね。最近はまだ30度超えが当たり前となっていてあまり驚かなくなってきましたが、まだまだ体が慣れません。それでもやっぱり夏キモノはいいですね～。

ところで、突然ですが、よろづ屋でインターネット配信のラジオ番組を始めました！その名も「よろづ屋プレゼンツ～和のある暮らし つむぐラジオ～」です。私若女将と原町店スタッフ新妻が、大好きな着物のアレコレや、和のある暮らしについてあくまでもゆる～く会話する番組です。女性ならではの仕事や家庭、子育ての話から、地元の話など毎回何が飛び出すかは私たちにも未知です(笑)この番組は、当店のホームページ上から聴くことができます。ぜひ、「よろづ屋着物」で検索してみてください。他にもApplePodcast(アップルポッドキャスト)、Spotify(スポティファイ)GooglePodcast(グーグルポッドキャスト)など、7つのプラットフォームから配信中です。ぜひお聴きいただき、番組への感想などお寄せいただければと思います。夏真っ盛りの8月ですが、今月も当店のご利用お待ちしております！！



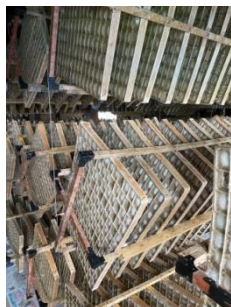
## < 栃木県小山市の養蚕農家を訪れました >

栃木県小山市にある養蚕農家さんを訪問しました。  
江戸末期頃から養蚕に携わるお宅で、お蚕様の飼育の様子や、桑畑などを見学しました。

今回、栃木県小山市にある養蚕農家の福田さんを訪問しました。江戸末期から養蚕に携り現在はご夫婦で年間5回育・820kg 反物にすると164反分の繭を作られています。福田さんのご自宅の2階には、すごい数の回転まぶしが並んでいました。まだ完全に糸を吐き終えてないのんびりやのお蚕さまや、完全に完成出来なかった繭など様々なので、収繭をして選別する作業が大変との事です。栃木県の中でも小山市の生産量は年間5tで、県内でもトップの出荷量ということです。小山市は「桑村」「絹村」と呼ばれていて、古くから養蚕業の盛んな地域だったそうです。全盛期には250軒ほどあった養蚕農家も現在は6軒のみとのこと。かつては日本を支えた養蚕業ですが、今なお懸命に取り組んでいる方々のいろいろなお話が聞けて、とても貴重な経験になりました。



養蚕農家の福田さんご夫婦と、JAの鈴木さん。外から見ても2階には回転まぶしがびっちり。屋根の上の煙突のような物は、昔は暖をとるのに薪を焚いたため、そこから煙を出すためだそうです。これがあると養蚕農家という目印だそうです。



一つのまぶしに大体120個、一列が10あるのでおよそ1200個、それが全部で50～60あるそうです。大きさも様々でした。自宅の2階は奥まで回転まぶしで大渋滞です。すごい数でした。



手前の背の低い桑の木は植樹して4年目。奥の桑の木は180cmくらいありました。新しく迎えるお蚕さまに食べさせるため、これから刈り取るそうです。

# ＜ よろづ屋 きものがたり～博多織～ ＞

全国の紬の産地のお話や、きものにまつわるあれこれをご紹介しますコーナー  
第8回目は、一つは必ず持っていたいカジュアル帯の代表博多織

今回は、カジュアルの定番帯として人気の博多織をご紹介します。堅くてしなやかな博多織は締め崩れせず、シワになりにくく、キュッと心地よい絹鳴りの音が響くため愛好家が多い帯です。

鎌倉時代に中国に渡った博多の商人が織物技術を持ち帰ったのが始まりとされていて、江戸時代に筑前藩主・黒田長政が毎年幕府に献上したことから伝統的な博多織は「献上博多」と呼ばれています。

献上柄の定義は、独鈷（どっこ）、華皿（はなざら）、親子縞、孝行縞の4つが配列されていることです。独鈷はインドの僧の仏具で、煩惱を破碎（はさい）し菩提心を表す象徴とされるもの、華皿は仏様を供養する花を入れる皿のことです。そして、親子縞は、外側に太い線、内側に細い線が2本の縞で、両親（太い線）が子（細い線）を包み込んで守るという意味を持ちます。反対に内側に太い線、外側に細い線の縞は孝行縞で、細い線（子）が太い線（親）を守っています。博多献上柄には、末永く親子の情愛が続きますように、という願いが込められています。

最近では、献上柄の他にも、モダンでスタイリッシュな柄の博多帯も多く、小紋や紬などのカジュアルな着物をワンランクアップさせるアイテムとしても大変人気となっています。夏用には紗織の博多帯がオススメです。



博多紗八寸帯 228,000円(税込)



hibicolle ハカタ 110,000円(税込)

締めやすさと、崩れにくさで出番が多い博多帯です



## 体型別、着付けのコツ

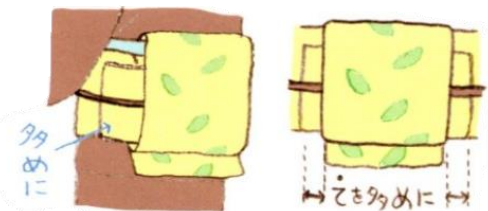
ふくよかさん  
のっぼさん  
おやせさん

着物には、体形の悩みをカバーしてくれるさまざまな知恵が詰まっています。ふくよかでもやせていても、ほんの少しの工夫で美しい着姿になります。

### ～お尻が大きいのが気になります～ 「お太鼓を大きめに、て先を多めにだします」

お尻が大きい場合は、帯結びでカバーしてみましょ。て先を通常より多めに出すとお尻の大きさが目立たなくなります。

また、お太鼓を大きめに作り、たれ先をお尻の一番高い部分に合わせましょ。また、お尻の一番高い部分と腰の段差をなくすようにタオルなどで補正するのもオススメです。お太鼓からヒップラインの段差がなく、まっすぐになることでお尻が目立たなくなります。補正の際は、凹みを埋めるようにし、タオルがヒップトップにかからないようにしましょ。



参考文献: 着物の辞典 大久保信子監修

今月のおすすめ!

幡 BAN INOUE  
麻トートバッグ  
7,150円(税込)



今回おすすめの商品は、奈良の伝統工芸品「麻布製品」の販売・カフェ運営を行っている、「幡BAN INOUE」の麻のトートバッグです。

一つひとつ手織りした麻を中心に奈良の伝統文化や美しさを守りつつ、時代の流れとともに新しいライフスタイルを提案している「幡BAN INOUE」。

日本の伝統美や精神性を継承しながら、現代の生活と調和し、生活を美しく、また心地良くすることをコンセプトに、素材を生かした「魅力あるモノづくり」を行っています。今回入荷した、豆絞り柄のトートバッグは、竹の持ち手が特徴的な、どこか懐かしいデザインになっています。麻の風合いをそのままに、豆絞りの柄が素材で可愛いデザインです。夏のカジュアル着物でも浴衣でも、もちろんお洋服にもピッタリです!!

色は、緑、青、赤の3色。スナップが付いているので、バッグの中身が見えない安心のデザインです。ファスナー付きの内ポケットのついていて機能性も抜群です! 素材とデザインに一目ぼれして仕入れた、一押しの新入荷商品です!

…若女将のつぶやき…

以前から眺めたかった、薄物のちりよけコートを新調しました。普段は、車の移動がほとんどなので、普段から羽織物を着る習慣がなかったのですが、2019年の東京キモノショーに参加した際、お着物でいらっしゃる方が多くが透け感のある羽織やコートを着ていたのが本当に素敵だったのです。都会は電車と歩きの移動がほとんどなので、マナーとしてちりよけコートや羽織を着る習慣があるのですね～。ちょうど5月の連休で、薄物が一足早く初夏を感じさせて涼し気です～♪ ということで憧れの一着を眺えました☆ みなさまにもぜひおすすめしたいです! この透け感たまらないです～(後ろ姿ですみません笑)

